

(株)SRAホールディングス 代表取締役社長の鹿島です。

本日、平成26年3月期 第2四半期決算を発表しました。今回の発表の要点は下記のとおりです。

詳細は、発表資料をご覧ください。 <発表資料> <http://www.sra-hd.co.jp/ir>

なお、「決算付属資料」、「平成25年10月 月次売上高速報」につきましても併せて発表しました。

[平成26年3月期 第2四半期業績(連結)対前年同期]

■売上高＝増収：開発事業、運用・構築事業、販売事業の[すべてのセグメントで増加]

■利益＝増益：営業利益、経常利益、四半期純利益の[すべての指標で増加]

◎売上高：163億21百万円(前年同期比11億56百万円増／7.6%増)

主な増収要因：

- ・開発事業(7.6%増)＝電力向けが減少したものの銀行・証券・損保向けが増加
- ・運用・構築事業(2.8%増)＝大学向けが減少したが、企業向けが増加
- ・販売事業(9.1%増)＝(株)AIT：金融分野および医療分野を中心に好調を持続したため増加

◎営業利益：9億66百万円(前年同期比66百万円増／7.4%増) 営業利益率：5.9%(前年同期5.9%)

◎経常利益：11億93百万円(前年同期比2億35百万円増／24.6%増) 経常利益率：7.3%(前年同期6.3%)

◎四半期純利益：6億64百万円(前年同期比1億53百万円増／30.1%増)

主な増益要因：粗利益の増加、収益向上施策の徹底

第2四半期連結業績予想に対しましては、売上高はほぼ同じ水準を確保し、経常利益は上回ることができました。

なお、「投資有価証券評価損」の[戻入れ]につきましては、平成25年10月29日に情報開示しておりますが、再度、ここにご説明いたします。

■投資有価証券評価損の戻入れの理由

- ・第1四半期に当社保有のSJI株式の株価下落に伴い、投資有価証券評価損を特別損失として計上しましたが、SJIが8月2日に監理銘柄の指定を解除され、その後、株価が回復し、第2四半期は投資有価証券の評価損を計上する必要がなくなり、投資有価証券評価損の戻入れを行ないました。

■SJIに対する当社の今後の対応・支援

- ・SJIに対する当社の今後の対応・支援につきましては、有価証券報告書提出遅延の原因となったSJI海外連結子会社等の状況を十分に注視しつつ、当社の企業価値および株主価値向上の観点から検討してまいります。

[平成25年10月 月次売上高]

(株)SRA＝金融部門は順調に推移しているものの、その他の部門で計画達成が遅れている

(株)AIT、海外子会社＝順調に進捗

国内子会社＝堅調に推移

<発表資料> <http://www.sra-hd.co.jp/ir/ir-news/news/ir-news201310.pdf>

今後ともSRAグループ一丸となって収益力向上を目指します。

皆様には引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。